

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-4

< 第39週 > マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.5-8

< 腸管出血性大腸菌感染症 > 2004年第39週の現段階での報告数は67例であった。1週間当たりの報告数は、第36週からは4週連続で減少している  
< 急性脳炎 > 急性脳炎としては、2003年11月5日から8月末までに58例の報告があった



病原体情報  
P.9-10

インフルエンザウイルス 2004/05シーズンと2003/04シーズンのまとめ / 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年 / 流行性角結膜炎患者から分離されているウイルス 2004年



速報  
P.11-16

9月におけるAH3型インフルエンザウイルスの分離 - 大阪府箕面市 / 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の一部を改正する政令及び省令」の概要 - 獣医師の届出対象の追加など



海外感染症情報  
P.17-18

タイでのトリインフルエンザ / チャドでのコレラ流行 / スーダンでのE型肝炎流行



感染症の話  
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(39週)  
P.20-26



39週のデータ  
P.27-36



## 発生動向総覧

\*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

<第39週コメント> 10月1日集計分

### 全数報告の感染症

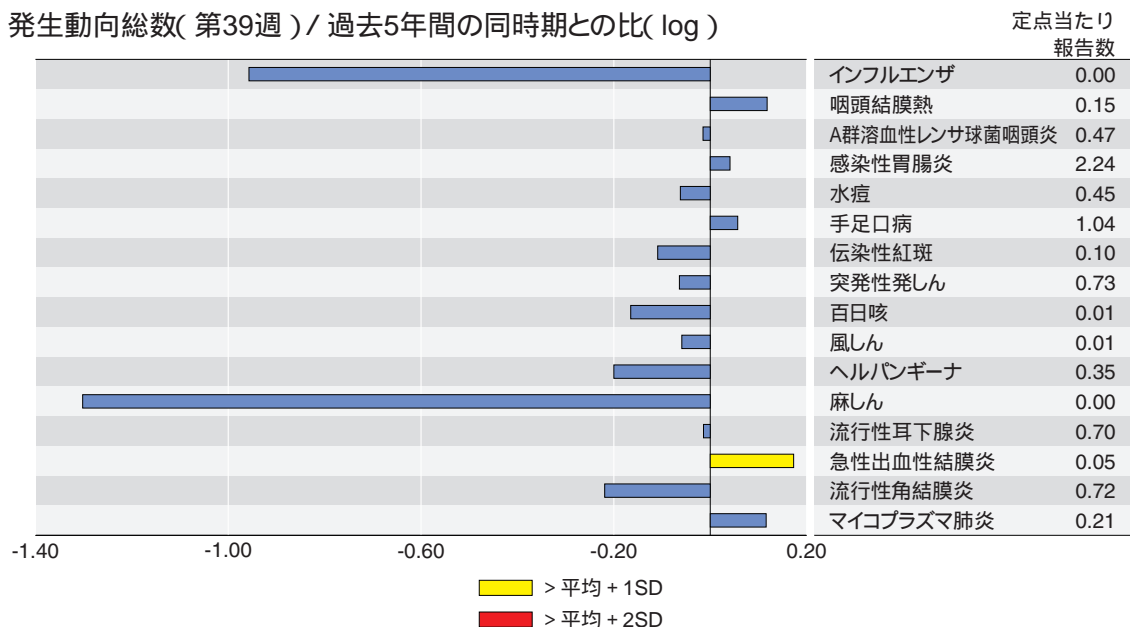
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
  - 2類感染症: コレラ 3例( 推定感染地域: フィリピン1例、疑似症2例 )  
細菌性赤痢 18例( 推定感染地域: 国内5例、中国3例、ポルトガル2例、インド2例、インド/ネパール1例、インドネシア1例、タイ1例、ミャンマー1例、モロッコ1例、ケニア1例 )  
パラチフス 4例( 推定感染地域: いずれもインド )
  - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 67例( うち有症者42例 )  
報告の多い都道府県: 宮城県( 8例 )、鳥取県( 8例 )、福島県( 7例 )  
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2( 20例 )、O26 VT1( 14例 )、O157 VT2( 14例 )、O63 VT2( 3例 )、O157 VT1( 2例 )、O111 VT1・VT2( 2例 )、O115 VT1( 1例 )、O1 VT1( 1例 )、その他( 10例 )  
年齢: 10歳未満( 36例 )、10代( 12例 )、20代( 3例 )、30代( 8例 )、40代( 4例 )、50代( 1例 )、60代( 2例 )、70歳以上( 1例 )
  - 4類感染症: 日本紅斑熱 2例( 島根県、徳島県 )  
マラリア 1例( 三日熱、推定感染地域: パプアニューギニア )  
レジオネラ症 2例( 69歳、73歳 )  
A型肝炎 2例( 推定感染地域: とともに国内 )
  - 5類感染症: アメーバ赤痢 3例( 推定感染地域: いずれも国内、推定感染経路: 性的接触1例、不明2例 )  
ウイルス性肝炎 1例( B型、推定感染経路: 不明 )  
クリプトスポリジウム症 1例( 千葉県、推定感染地域: 国内 )  
後天性免疫不全症候群 15例( 無症候12例、AIDS 2例、その他1例 )  
推定感染経路: 性的接触13例( 異性間1例、同性間12例 )、不明2例  
推定感染地域: 国内13例、タイ1例、不明1例  
ジアルジア症 2例( 推定感染地域: 中国( 香港 )1例、不明1例 )  
梅毒 1例( 早期顕症II期 )  
破傷風 3例( 74歳、75歳、79歳 )
- ( 補 )他に腸管出血性大腸菌感染症1例の報告があったが削除予定。また報告遅れとして、クリプトスポリジウム3例( いずれも千葉県、推定感染地域: 国内 )、急性脳炎1例( 1歳、病原体: アデノウイルス )が報告された。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 )から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 )定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 )に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数( 第39週 ) / 過去5年間の同時期との比( log )

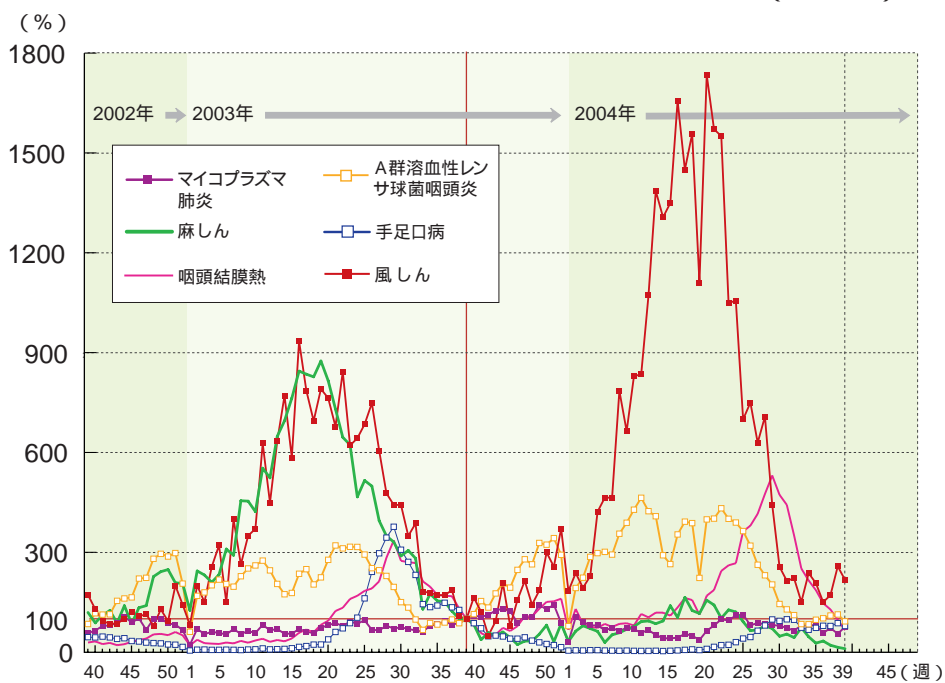


当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 )の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

**小児科定点報告疾患**：咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となった。その後も第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週からは減少している。都道府県別では福井県( 1.4 )、宮崎県( 0.7 )が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けた後、第35週からは緩やかに増加していたが、第39週は減少した。都道府県別では大分県( 1.4 )、富山県( 1.3 )、鳥取県( 1.3 )が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いた後、第34週からわずかに増加していたが、第39週は減少した。都道府県別では福井県( 7.2 )、鳥取県( 5.6 )、大分県( 4.8 )が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加し、その後第32週までほぼ横ばいで推移した。第33週から減少した後、第35週からは再びわずかに増加していたが、第39週は減少した。都道府県別では宮崎県( 9.2 )、高知県( 3.4 )、鹿児島県( 3.4 )が多い。風しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、都道府県別では18都道府県から報告があったが、いずれも0.1未満であった。麻しんの定点当たり報告数は前週とほとんど同値で、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。4都道府県から報告があったが、定点当たり報告数はいずれも0.1未満であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて35都道府県から報告がなされ、報告数は合計46例であった。

**基幹定点報告疾患**：マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加し、都道府県別では山口県( 1.0 )、秋田県( 0.9 )、群馬県( 0.9 )が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き( 第39週 )



2003年第39週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



## 注目すべき感染症

### 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、患者または無症状病原体保有者について、診断した医師は届け出が義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期的検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第39週の現段階での報告数は67例であった。1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移していたが、第36週からは4週連続して減少している( 図1 )。第39週の報告を都道府県別にみると宮城県( 8例 )、鳥取県( 8例 )、福島県( 7例 )が多かった( 図2 )。鳥取県からの報告は、先週に引き続き韓国への修学旅行に関連した症例であり、宮城県および福島県からの報告の多くは、保育所での集団発生に関連した症例である。

2004年の第39週までの累積報告数は2,986例で、過去3年間の同週までの累積報告数( 2001年4,016例、2002年2,772例、2003年2,010例 )と比較すると、2002年の状況に近い。都道府県別にみると、東京都( 228例 )、大阪府( 184例 )、石川県( 169例 )、岡山県( 168例 )が多く( 図3 )、年齢群別( 0~69歳までは10歳毎、および70歳以上 )にみると、10歳未満1,256例( 42% )、10代491例、20代392例、30代270例、40代157例、50代161例、60代130例、70歳以上129例となっている。血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 1,039例( 34.8% )、O157 VT2 670例( 22.4% )、O26 VT1 567例( 19.0% )の順に多い。

溶血性尿毒症症候群( HUS )の第39週までの累積は39例である。年齢群別では10歳以下が31例( うち、5歳以下は25例 )、10代2例、60代1例、70歳以上5例であった。性別では男性11例、女性28例と女性に多かった。それらの原因菌の血清型・毒素型別では、O157 VT2( 15例 )、O157 VT1・VT2( 13例 )、O111 VT1・VT2( 3例 )、O26 VT1・VT2( 2例 )、その他6例であった。本年報告されている死亡例は4例( 70代女性、2歳女性、3歳女性、80歳男性 )であるが、原因菌の血清型・毒素型はそれぞれO157 VT1・VT2、O26 VT1・VT2、O111 VT1・VT2、O157 VT1・VT2であった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には「入力時のお願い」として、修正報告することをお願いしている。

また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い( 特にオムツ交換時 )、園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症( 無症状病原体保有者含む )の年別週別発生状況

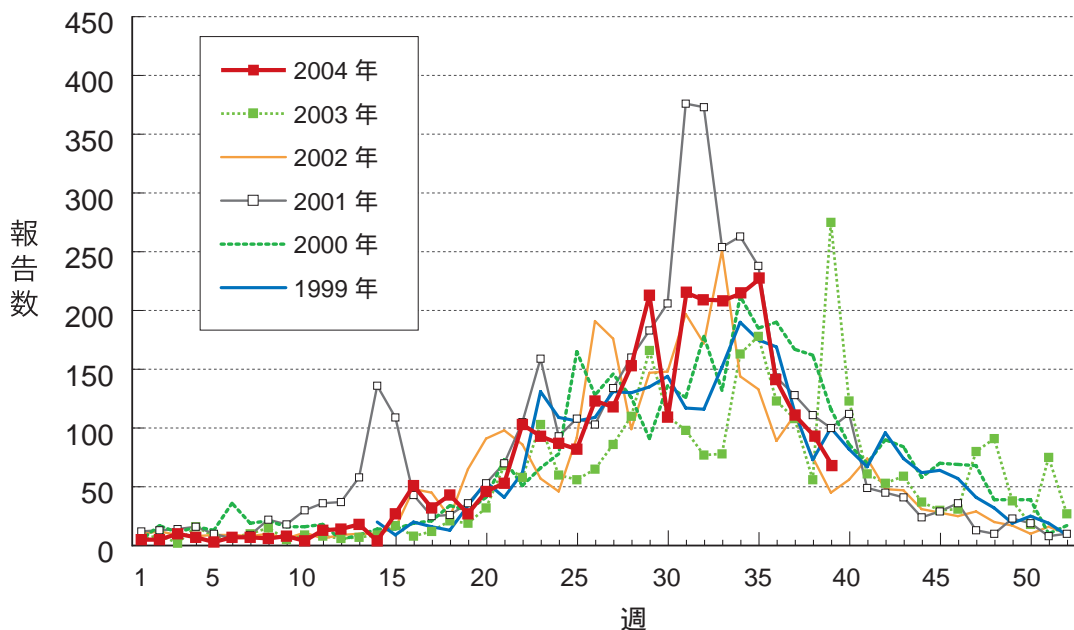


図2. 腸管出血性大腸菌感染症( 無症状病原体保有者含む )の都道府県別発生状況 ( 2004年第39週のみ )

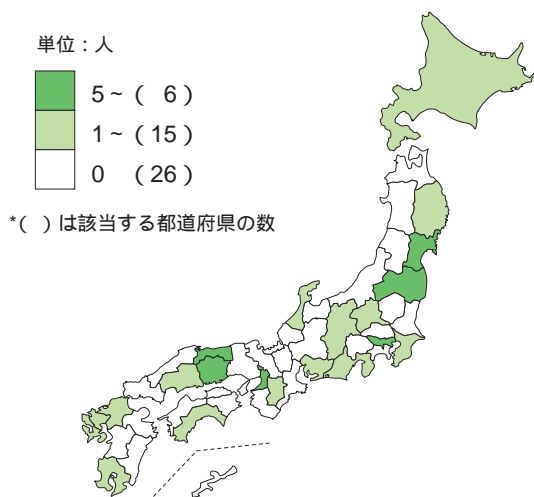
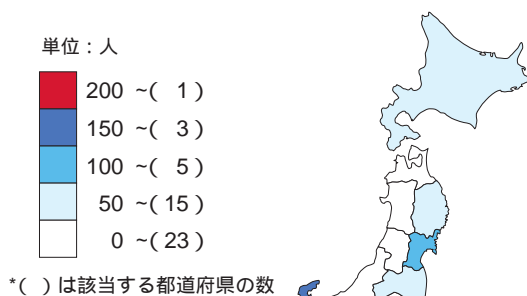


図3. 腸管出血性大腸菌感染症( 無症状病原体保有者含む )の都道府県別発生状況 ( 2004年第1 ~ 39週の累積 )

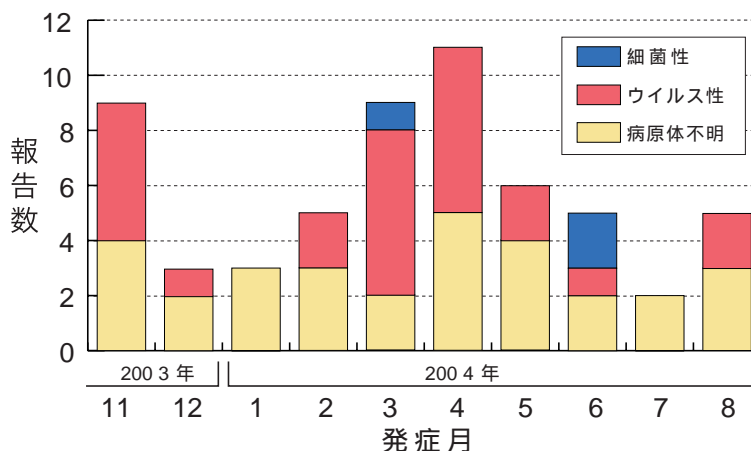


## 急性脳炎(2003年11月～2004年8月報告分)

急性脳炎は昨年の感染症法一部改正(2003年11月5日施行)によって、基幹定点からの報告による定点把握疾患から五類感染症全数把握疾患に変更され、診断した全ての医師に届出が義務づけられている。届出の対象は、四類感染症に規定されているウエストナイル脳炎および日本脳炎を除き、それ以外の病原体によるもの、病原体不明のものである。また、炎症所見が明らかでなくとも、同様の症状を呈する脳症も含まれる。この変更は、近年インフルエンザ脳炎・脳症や、エンテロウイルス71型による重篤な急性脳炎の発生などが問題となっている中、種々の原因による急性脳炎の出現や、過去に国内で認識されていなかった病原体の流行を、病原体不明の時点であっても確実かつ迅速に捉えることの重要性からである。当初、インフルエンザ脳炎や麻しん脳炎など、原疾患が届出対象であるものは除くと解釈されていたが、厚生科学審議会感染症分科会の審議を経て、2004年3月1日以降はこれらも届出の対象となった(厚生労働省結核感染症課長通知、平成16年2月26日健感発 第0226001号)。なお、届出時点で病原体不明なものについては可能な限り病原体診断を行い、明らかになった場合には追加で報告することが求められている。

急性脳炎としては、2003年11月5日から8月末までに58例の報告があった(図1)。男性、女性各29例で性差は認められなかった。年齢群別(10歳毎)では、10歳未満22例(38%)、10代2例、20代7例、30代8例、40代5例、50代8例、60代1例、70代5例であった。病原体については、細菌3例(結核菌、サルモネラ菌、ペニシリン耐性肺炎球菌各1)、ウイルス25例(ヘルペスウイルス13、インフルエンザウイルス5、ムンプスウイルス4、麻しんウイルス1、EBウイルス1、ロタウイルス1)で、病原体不明が30例あった。インフルエンザウイルス5例の内訳は、AH3型2例、A亜型別未施行2例、不明1例であった。20歳未満ではインフルエンザウイルス、ムンプスウイルス、20歳以上ではヘルペスウイルスが多く、年齢により病原体に違いが認められた(図2)。また、麻しんウイルスを原因とする症例は成人女性であった(IDWR2004年第23号速報記事参照)。9月1日までの結果では死亡は9例(16%)で、ヘルペスウイルス、インフルエンザウイルス、麻しんウイルス、ロタウイルスによるものが各1例で、病原体不明が5例であった。病原体や転帰については、各自自治体の協力を得て、一ヶ月以上を経過した後にできる限りの再調査を行い、情報収集した結果である。

図1. 急性脳炎の発症月別・病原体別分布  
(2003年11月～2004年8月、N=58)



対象疾患となつてからの約10カ月間に、1例も報告のない都道府県が22都道府県であり( 図3 ) また、報告された58例のうち12例( 21% )は4つの医療機関からの報告で占められていた。未報告の症例が多く存在することが推測され、急性脳炎が届出対象疾患であることの周知徹底が必要である。また、病原体不明が半数以上を占めているが、病原体の特定は、診療の場における早期診断・治療やワクチンなどによる予防対策に必要であるので、より積極的な病原体検索が望まれる。

図2. 急性脳炎における病原体の分布  
( 2003年11月 ~ 2004年8月 )

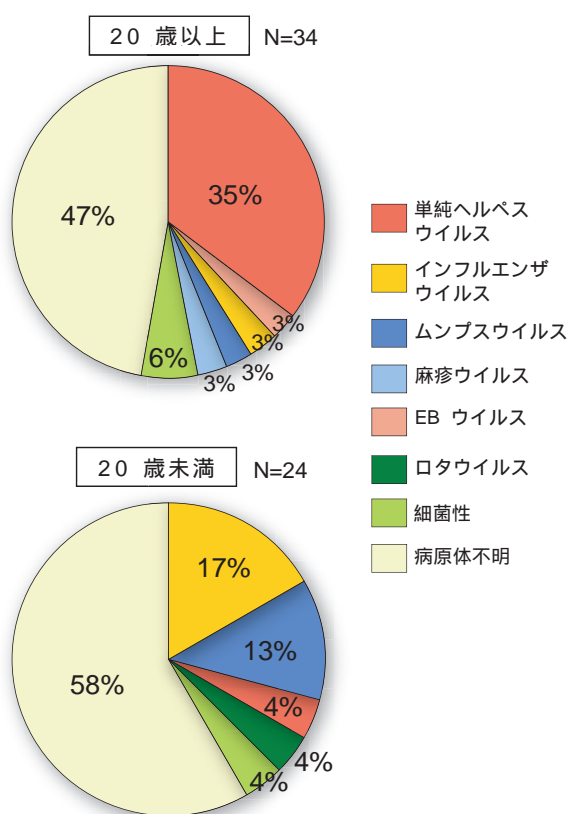
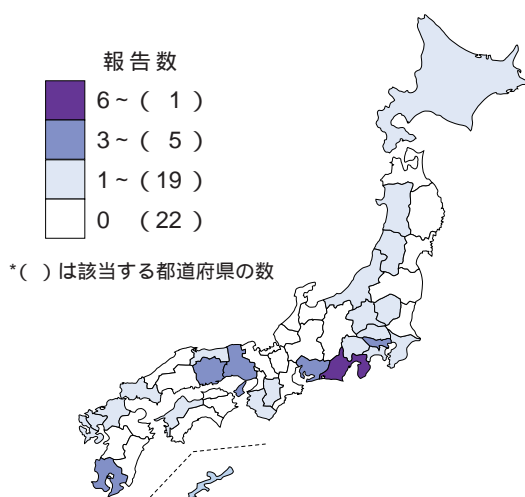


図3. 急性脳炎の都道府県別報告数  
( 2003年11月 ~ 2004年8月、N=58 )







# 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

( 2004年10月1日現在報告分 )

## インフルエンザウイルス 2004/05シーズンと2003/04シーズンのまとめ

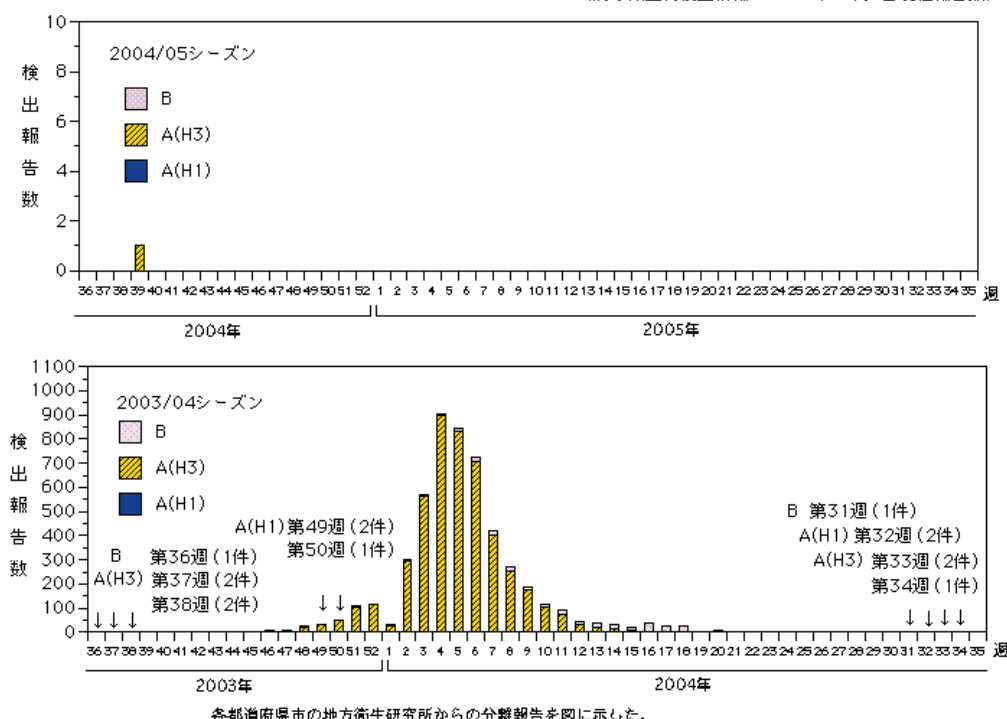
今シーズン( 2004/05シーズン )初の分離として、大阪府で2004年9月21日( 第39週 )に採取された5歳男児の検体からAH3型が1件報告されている( IDWR本号速報記事参照 )。

前シーズン( 2003/04シーズン )のインフルエンザウイルス分離・検出数をまとめると、AH3型が4,784件( 47件 )、B型が291件( 1件 )、AH1型が5件報告された( カッコ内はPCRのみによる検出数を再掲 )。各型の初分離例の検体採取日( 採取週 ; 報告機関 )は、AH3型が2003年9月12日( 第37週 ; 長崎県 )、B型が2003年9月4日( 第36週 ; 沖縄県 )、AH1型が2003年12月2日( 第49週 ; 埼玉県 )であった。報告の主流であったAH3型は、2004年第4週( 900件 )がピークであった。B型は2003年第47週以降、少数ながら毎週分離され、2004年第16週( 31件 )が最も多かった。AH1型は、初分離例と同じ第49週に長野県から1件、第50週に埼玉県から1件が報告された後、2004年第32週に沖縄県から2件が報告された。

AH3型は4月26日( 第18週 ; 福島県 )の分離・検出以降、しばらく報告がなかったものの、第25 ~ 34週にかけて4件( 愛知県3件( 第25、33週 )、奈良県1件( 第34週 ) )の報告があり、いずれも海外渡航歴のある患者からの分離であった。一方、B型は第19週以降( 5/3 ~ )も分離報告が続いていたが、第25週に北海道から1件の分離が報告された後、7月28日( 第31週 ; 沖縄県 )に採取された検体からの分離が最後となっている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数, 2003/04, 2004/05シーズン

( 病原微生物検出情報 : 2004年10月1日現在報告数 )



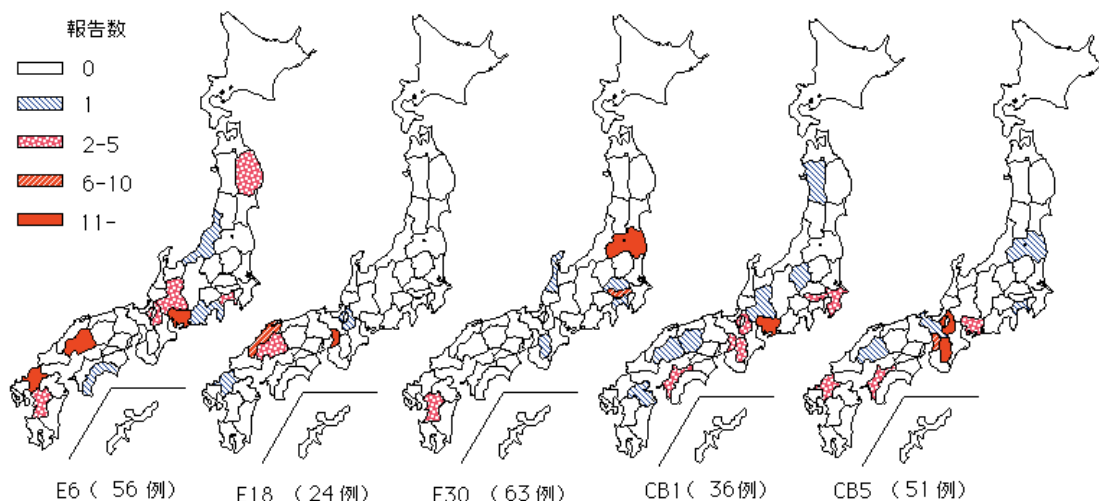
### 無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年

エコーウイルス(E)が164件(30型63、6型56、18型24、7型10、25型4、13型3、3型1、9型1、11型1、27型1)、B群コクサッキーウイルス(CB)が108件(5型51、1型36、2型12、3型6、4型3)、ムンプスウイルスが27件、A群コクサッキーウイルスが18件(9型8、2型6、4型2、10型1、14型1)報告されている。

昨年(2003年)全国的に流行したE30は IDWR2004年第20号病原体情報12ページ参照) これまでに63件と最も多いが、このうちの50件は福島県( IDWR2004年第33号15ページ速報記事参照)からの報告であり、その他に6都県から報告されている。E30と同様に昨年多かったE6は56件で、愛知県16、福岡県15、広島県11などからの報告が多い。E18の24件中14件は大阪府から報告されている。また、CB5は51件が近畿地方(奈良県21、滋賀県13、大阪府7、京都府1)を中心に10府県から、CB1は愛知県15など13都府県から報告されている。検出されるウイルスは地域によりそれぞれ異なっている。

#### 都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告状況, 2004年

(病原微生物検出情報: 2004年10月1日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



### 流行性角結膜炎患者から分離されているウイルス 2004年

アデノウイルスが計108件報告されており、昨年(2003年)と同様にアデノウイルス(Ad)37型が最も多く、これまでに33件(北海道7、福井県6、岩手県4、熊本県4など)が報告されている。次いで、昨年少なかったAd4が26件(群馬県17、熊本県4など)、昨年多かったAd3が25件(北海道8、熊本県4など)報告され、その他にはAd19が16件(山形県4、岩手県4など)、Ad8が5件(愛知県4など)、Ad1が2件、Ad11が1件報告されている。また、A群コクサッキーウイルス24型変異株(CA24v)が神奈川県から1件報告されている。



## 9月におけるAH3型インフルエンザウイルスの分離 - 大阪府箕面市

2004(平成16)年9月21日に池田保健所管内の感染症発生動向調査病原体定点病院小児科を受診した箕面市在住の5歳男児の鼻腔ぬぐい液から、AH3型インフルエンザウイルスを分離したので報告する。

患者はインフルエンザ様疾患を疑って受診し、病院でインフルエンザ迅速診断キットの結果が陽性となったため、検体が公衆衛生研究所に搬入された。検体はMDCK細胞に接種され、初代培養で細胞変性効果(CPE)を認め、ウイルスの増殖性を確かめるため継代培養された。2代培養でCPEが十分出現したところで、0.7%ヒトO型血球を用いてHA価128を認めたので、昨シーズン国立感染症研究所から配布されたインフルエンザ検査キットを用いて、HIテストを実施した。その結果、このウイルスは、AH1型の抗A/New Caledonia/20/99、抗A/Moscow/13/98、およびB型の抗B/Johannesburg/5/99、抗B/Shandong(山東)/7/97には全く反応せず、抗A/Panama/2007/99(H3N2)に対しては10(ホモ価5,120)を示したが、抗A/Kumamoto(熊本)/102/2002(H3N2)に対しては64(ホモ価2,560)を示した。さらに、AH3型に特異的なプライマーを用いたRT-PCRで特異バンドを確認したので、今回分離されたウイルスは、AH3型インフルエンザウイルスと同定した。

疫学情報としては、この患児が通っていた豊中市内の幼稚園では、同時期に10名以上の欠席者があり、その欠席児童のうちの1人は、同じくこの病院でインフルエンザ迅速診断キット陽性であった。発症後1週間を過ぎたが、9月30日現在、この地域で流行が拡大しているとの情報は得られていない。

9月下旬はインフルエンザとしては非流行期であり、このウイルスの由来、および10月以降における動向は非常に気になるところではあるが、現在、大阪府でインフルエンザの流行の兆しがあるとは言い難く、このウイルスが来たるべきインフルエンザシーズンの主流株になるか、あるいはこの夏の一過性の出現で終わるかは、残念ながら予測できない。しかしながら、最近ではインフルエンザ迅速診断キットの普及も相俟って、非流行期におけるインフルエンザウイルスの存在が関心を集めるようになってきている。非流行期におけるインフルエンザウイルスに対する情報が多数得られるようになれば、流行予測がより一層正確なものとなると考えられる。

大阪府立公衆衛生研究所・感染症部 加瀬哲男 森川佐依子 宮川広実 奥野良信  
箕面市立病院・小児科 溝口好美 岩城 大 山本威久

(IASR2004年11月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

## 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律の一部の施行期日を定める政令」「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部を改正する政令」及び「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令」の概要

厚生労働省健康局結核感染症課

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(以下、「感染症法」という。)」が改正されたことに基づき、これまでに必要な政令及び省令改正が行われたところ、その概要は以下の通りである。

なお、Iの2「獣医師の届出対象の追加」に関わる届出基準及びガイドライン等については、厚生労働省ホームページを参照ありたい。

( URL: <http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/10/tp1001-4.html> )

また、動物の輸入届出制度については、関係者に対して十分な周知が必要であり、今後、平成17年9月1日の施行に向け、本制度の周知に努めることとしている。

I 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律の一部の施行期日を定める政令(平成16年7月9日政令第230号)」及び「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行令の一部を改正する政令(平成16年7月9日政令第231号)」の概要

- 1 動物の輸入届出制度の施行期日等  
感染症法第56条の2に基づく動物の輸入届出制度の施行期日を平成17年9月1日と定めた。
- 2 獣医師の届出対象の追加  
(1) 国内における動物由来感染症対策の充実・強化を図るため、感染症法第13条第1項に規定する獣医師の届出の対象について、同項の政令で定める感染症及び当該感染症を人に感染させるおそれが高いものとして政令で定める動物として、下表の通り感染症及び動物が追加された。

改正後	改正前
1 エボラ出血熱 サル	1 エボラ出血熱 サル
2 マールブルグ病 サル	2 マールブルグ病 サル
3 ベスト プレーリードッグ	3 ベスト プレーリードッグ
4 重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。）イタチアナグマ、タヌキ及びハクビシン	4 重症急性呼吸器症候群（病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。）イタチアナグマ、タヌキ及びハクビシン
5 細菌性赤痢 サル	
6 ウエストナイル熱 鳥類に属する動物	
7 エキノコックス症 犬	

(2) 施行期日

平成16年10月1日

II 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則の一部を改正する省令(平成16年9月15日厚生労働省令第128号)」の概要

1 獣医師の届出事項の追加について(第5条関係)

感染症法第13条の規定に基づき獣医師及び動物の所有者が保健所長を経由して都道府県知事等に届け出なければならない事項について、都道府県知事等が人への感染症の発生及びまん延の防止のための必要な措置等を的確に行うため、事項を追加した。

なお、獣医師が届け出する場合の留意点として、(1)の、及びについては、診断した時点で獣医師が通常求められる注意義務によって把握できる情報を記入して届け出ること。

(1) 届出事項

- ① 動物の所有者(所有者以外の者が管理する場合、その者。以下同じ。)の氏名及び住所
- ② 動物の所有者がない、又は明らかでない場合、占有者の氏名及び住所
- ③ 動物の所有者又は占有者が法人の場合、その名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地
- ④ 動物の種類
- ⑤ 動物が出生し、若しくは捕獲された場所又は飼育され、若しくは生息していた場所
- ⑥ 動物の所在地
- ⑦ 感染症の名称並びに動物の症状及び転帰
- ⑧ 診断方法
- ⑨ 初診年月日及び診断年月日

- ⑩ 病原体に感染したと推定される時期
- ⑪ 感染原因
- ⑫ 診断した獣医師の住所(診療施設その他の施設で診療に従事している獣医師にあっては、当該施設の名称及び所在地)及び氏名
- ⑬ 同様の症状を有する他の動物又はその死体の有無及び人と動物との接触の状況(診断した際に把握したものに限る。)
- ⑭ その他獣医師が感染症の発生の予防及びそのまん延の防止のために必要と認める事項

(2)届出の様式

法第13条第1項の規定による獣医師の届出について、届出書の様式は (URL:<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/10/dl/tp1001-4b.pdf>)のとおりとする。

(3)厚生労働省への報告

獣医師より届出を受けた都道府県及び保健所を設置する市(特別区を含む。)から厚生労働省への報告事項は、国が感染症の発生動向を把握する上で必要な事項として、別紙のとおりとする。

なお、コンピューター・オンラインシステムによる報告体制が整備されるまでの間、厚生労働省への報告は、厚生労働省健康局結核感染症課あてに届出書 (URL:<http://www.mhlw.go.jp/topics/2004/10/dl/tp1001-4b.pdf>)をファクシミリにより送付することとする。

(4)獣医師から届出を受けた都道府県知事の対応

届出を受けた都道府県等は、人への感染症の発生及びまん延の防止を図るため、必要があると認めるときは、速やかに法第15条第1項の規定の実施及びその他所要の措置(法第27条から第29条まで及び第35条関係)の実施する旨を入念的に明確にした。

なお、法第15条第1項の規定の実施に当たっては、2(2)に留意することが必要である。

また、当該動物の所有者等に対する調査等を実施する際には、関係部局(課)及び関係団体と十分な協力・連携を図るとともに、保健所、地方衛生研究所の他に動物愛護センター等動物等取扱業者の指導を行う機関が設置されている都道府県等においては、同機関と協力・連携して対応できるよう所要の体制を構築することが望まれる。

2 感染症の発生の状況、動向及び原因の調査について(第8条関係)

(1)積極的疫学調査が必要な場合

必要な実施規定を以下のとおり整備。

- ① 1類感染症、2類感染症、3類感染症若しくは4類感染症の患者が発生し、又は発生した疑いがある場合
- ② 5類感染症の発生の状況に異状が認められる場合
- ③ 国内で発生していない感染症であって国外でまん延しているものが発生するおそれがある場合
- ④ 動物が人に感染させるおそれがある感染症が発生し、又は発生するおそれがある場合

⑤ その他都道府県知事が必要と認める場合

(2) 病原体の提出

- ① 都道府県知事は、法第15条第1項の規定を実施するときは、採取した検体、検査結果を記載した書類その他の感染症の発生状況、動向及び原因を明らかにするために必要な物件の提出を求めるものとする。
- ② 法第15条第1項に規定する感染症を人に感染させるおそれがある動物又はその死体の所有者又は管理者その他の関係者は、同項の規定の迅速かつ的確な実施を確保するため、動物又はその死体が感染症にかかり、又はかかっている疑いがあると認めたときは、速やかに、その旨を最寄りの保健所長を経由して都道府県知事に報告しなければならない。この場合において、①に規定する物件があるときは、添付しなければならない。

3 動物の輸入届出制度について( 第28条から第31条まで関係 )

動物の輸入届出制度に係る届出書の記載事項、必要な衛生証明書の記載事項、輸入者が提出すべき必要書類等を定めた。

4 施行時期

平成16年10月1日( 動物の輸入届出制度に係る改正規定は、平成17年9月1日 )

## 獣医師の届出に係る保健所報告項目

獣医師の届出につき、保健所が、都道府県等の本庁及び厚生労働省に報告する項目は、以下のとおりとする。

別記様式のうち、

- 「5 感染症の名称及び動物の種類」
- 「6 診断方法」
- 「7 獣医師が感染症の発生の予防及びまん延の防止のために必要と認める事項」
- 「8 動物の症状及び転帰」
- 「9 初診年月日」
- 「10 診断( 検案 )年月日」
- 「11 死亡年月日」
- 「12 推定される感染時期・感染原因」
- 「13 同様の症状を有する他の動物( 死体 )の有無」

及び

- 「14 人と当該動物との接触の状況」
- 並びに厚生労働大臣が別に指示した項目がある場合は、当該項目

以上





## 海外感染症情報

\* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ( <http://www.forth.go.jp/> )をご覧ください。

### タイでのトリインフルエンザ

WHO/CSR 2004年9月28日

昨日以来、タイ保健省は、新たなH5N1型トリインフルエンザ患者2名を確認した。症例は、9月20日に死亡した26歳女性と、その姉の現在入院中で安定している32歳女性である。

タイ当局は、最初のヒト患者が確認された2004年1月以来、死亡者10名を含む患者15名を報告している。家族内でのヒト・ヒト感染伝播の可能性の調査がなされている。

WHO/CSR 2004年10月4日

タイ保健省は10月4日、新たなH5N1型トリインフルエンザAウイルス感染患者を確認した。死亡した今回の患者は、北部のPhetchabun県在住の9歳の少女であった。少女は2004年9月23日に発症し、9月27日に入院し、10月3日に重症の呼吸器障害により死亡した。調査の結果、感染の原因として、発病したニワトリへの曝露が最も可能性が高いと確認された。少女は、自宅で飼育されていたニワトリが死亡した後、そのニワトリの羽をはぎ取ることを含め、調理の下ごしらえを手伝った。WHOでは、トリインフルエンザの流行が発生している国々の住民、特に遠隔の僻地に居住する住民に、発病した鳥類と接触することが危険であることについて教育することの重要性を強調している。

2004年の年初以来、タイでは検査により診断が確定したH5N1型感染患者16名が報告されており、そのうちの11名が死亡した。患者のうち4名は最近4週間以内に発生している。2004年9月最終週に、タイ当局は、家族内集積事例(クラスター)での、ヒト・ヒト感染の可能性のある症例について公表した。病因ウイルスが変異していないか確認するため、現在、WHO協力研究施設で、この集積事例からの検体の解析が実施されている。新たな患者発生を検知するために強化されたサーベイランスによれば、効率的で持続的なヒト・ヒト感染伝播が現時点でタイで発生している証拠は得られていない。

### チャドでのコレラ流行

WHO/Outbreak Reports 2004年9月27日

2004年9月14日から19日の間に、患者累計3,910名と死亡者164名(致死率4.2%)が報告されている。新規流行が発生しているBouso地域を除き、西部では流行は沈静化している。今回の流行は、首都N'Djaménaの北方Massaguet( Hadjar Lamine )地区から始まり、N'DjaménaのみならずLac地域とKanem地域にも流行が拡大した。N'DjaménaとAbechéの間にある、MongoとAti地区では現在患者は報告されていない。

公衆衛生専門家1名と衛生技師3名から成るGlobal Task Force on Cholera Controlからのチームは、流行対策準備活動の評価と支援に関して、保健省と共に作業を行う予定である。準備活動は、Darfurからの避難民が現在生活しているチャド東部に展開する、国際的援助機関と非政府機関により組織化されている。

### スーダンでのE型肝炎流行

WHO/CSR 2004年9月28日

2004年5月22日から9月17日の間に、早期警報対応システム( EWARN )を通じて、広域Darfur地域内の医療機関から、E型肝炎が疑われる患者6,871名と死亡者87名が報告された。1週間当たりの報告患者数は増加を続けている。West Darfur地区は現在も流行が最も深刻である。

3つの州で制圧対策が実施されている。保健省、ユニセフ、オックスファム( Oxfam )、世界の医療団( メドゥサン・デュ・モンド )、フランス、国境無き医師団-オランダ、国連合同物流センター( United Nations Joint Logistics Centre:UNJLC )、国際赤十字社を含む保健機関がWHOと共に、集団衛生教育計画の規模拡大、利用できる石鹼数の増加、新たな井戸掘り、貯水池や井戸の効果的な塩素消毒の確認のために、活動している。South Darfur地区が、飲料水の確保および衛生指標の点で最も劣っている。WHOは、水資源・環境衛生局( WES )および保健省( SMOH )と共に、South Darfur地区での国内難民キャンプに対する緊急環境保健計画を作成するため作業している。

現地にある各種資源は、Darfurの難民が必要とする基本的な飲料水や衛生状態を確保するのに依然として不十分である。新たな患者数を減少させ、他の水系感染症の拡大を防止するために、更なる努力が必要とされている。



## 感染症の話

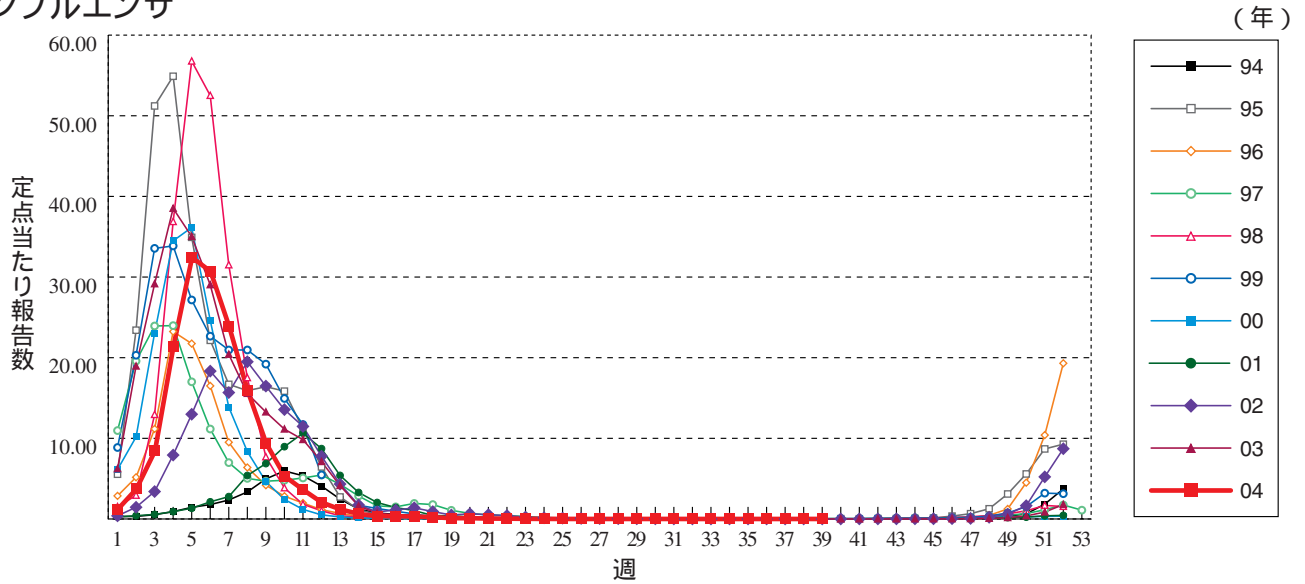
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

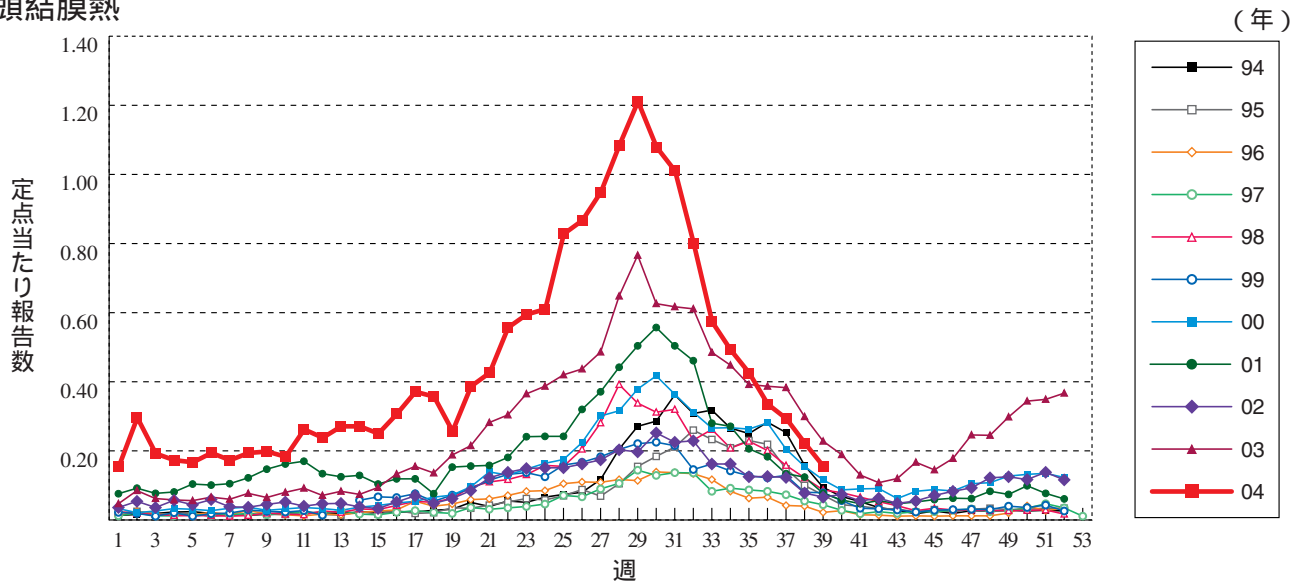
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧( 39週 )**

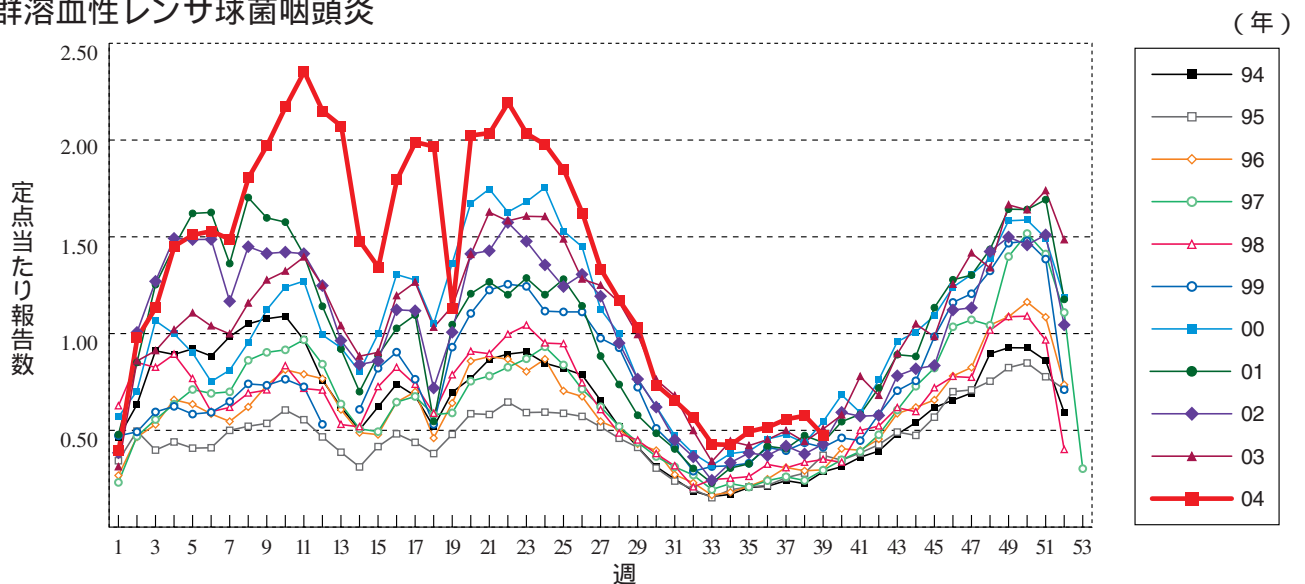
**インフルエンザ**



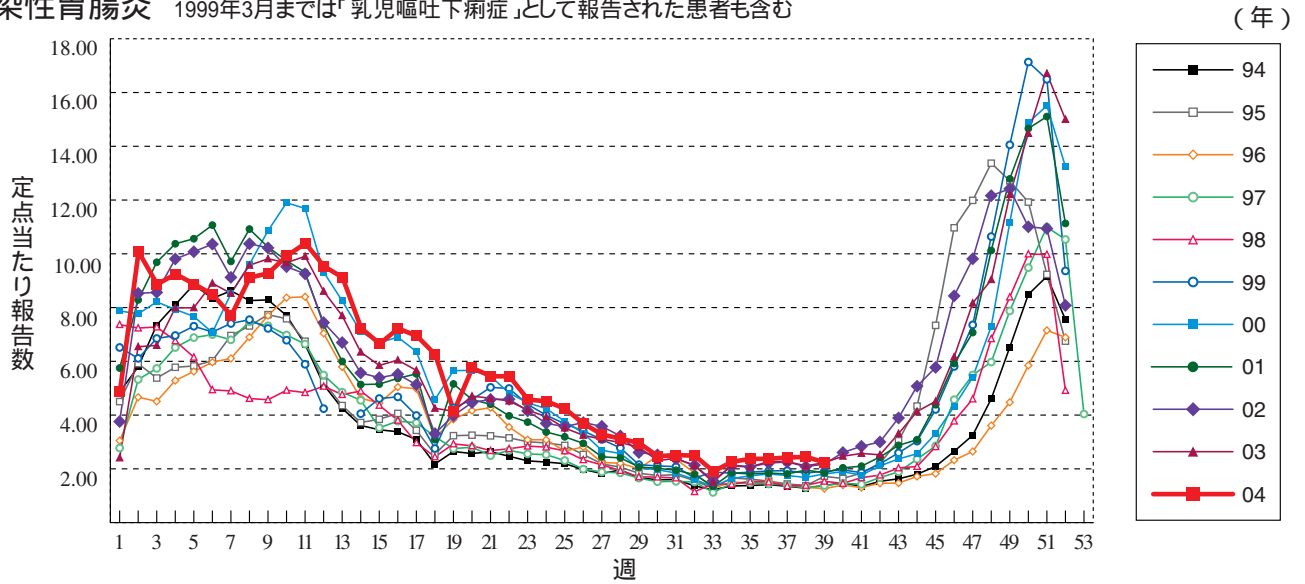
**咽頭結膜熱**



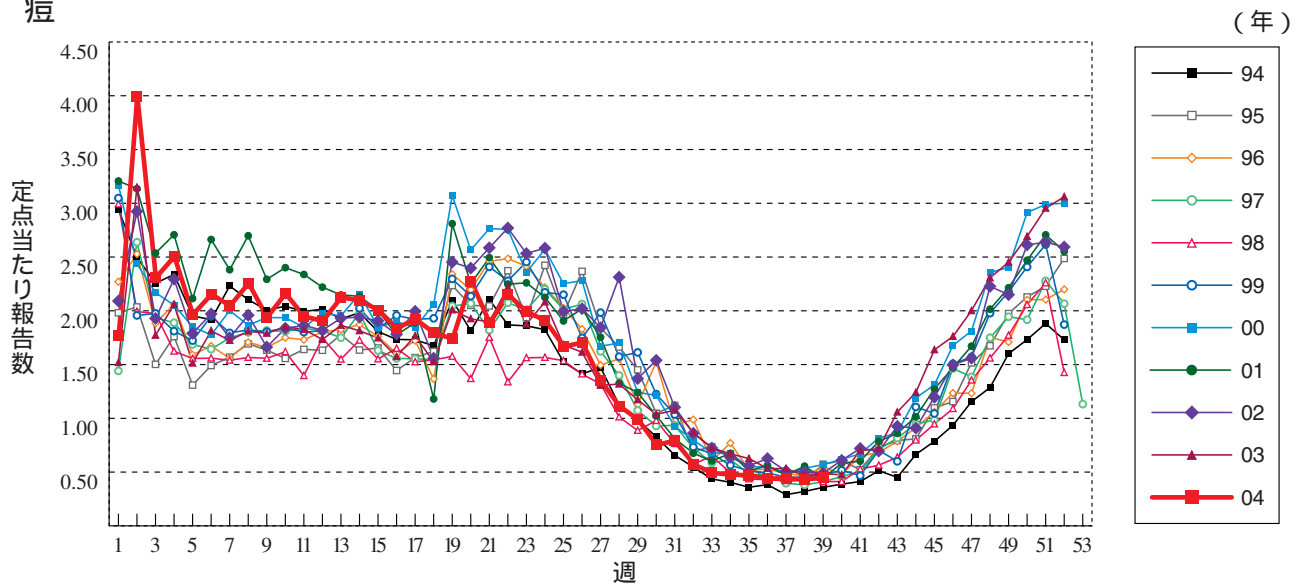
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



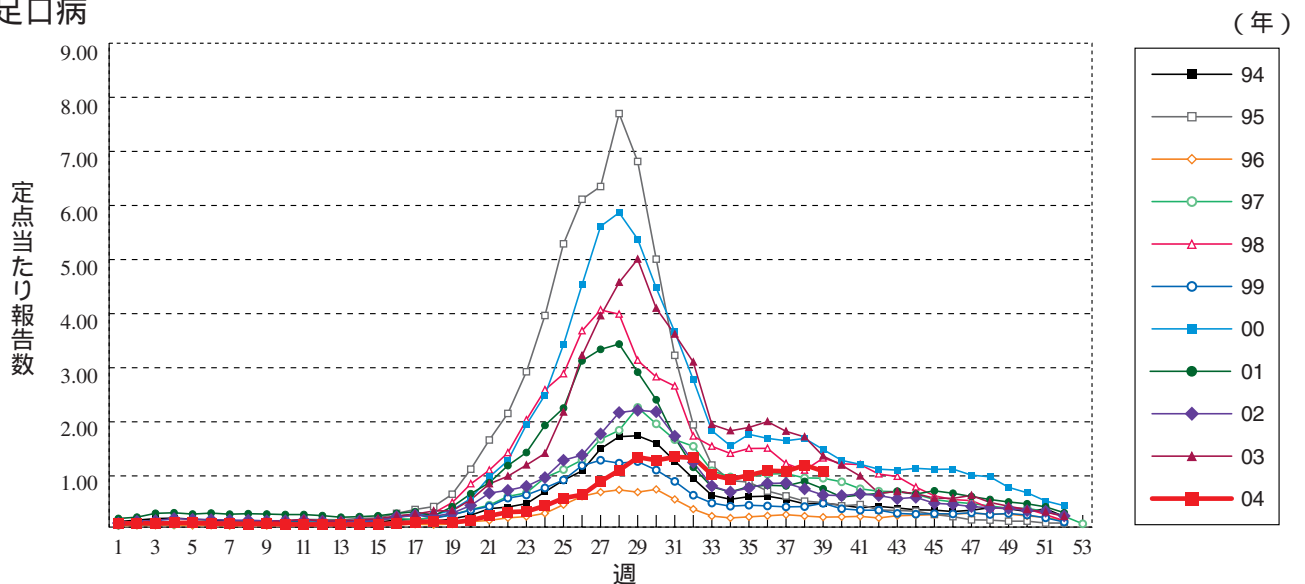
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



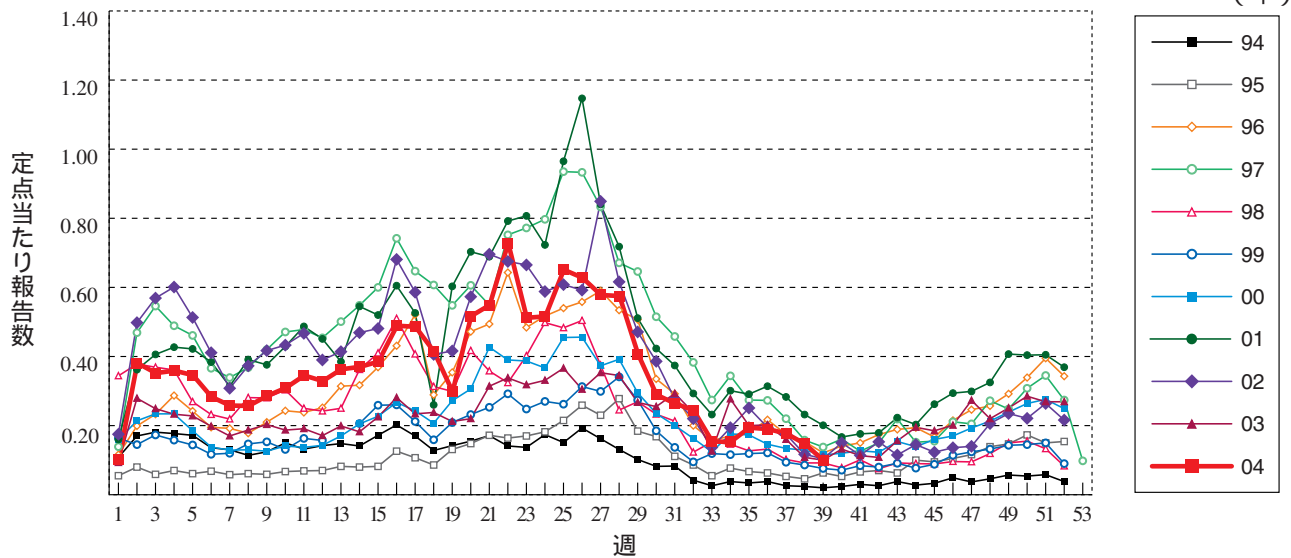
**水痘**



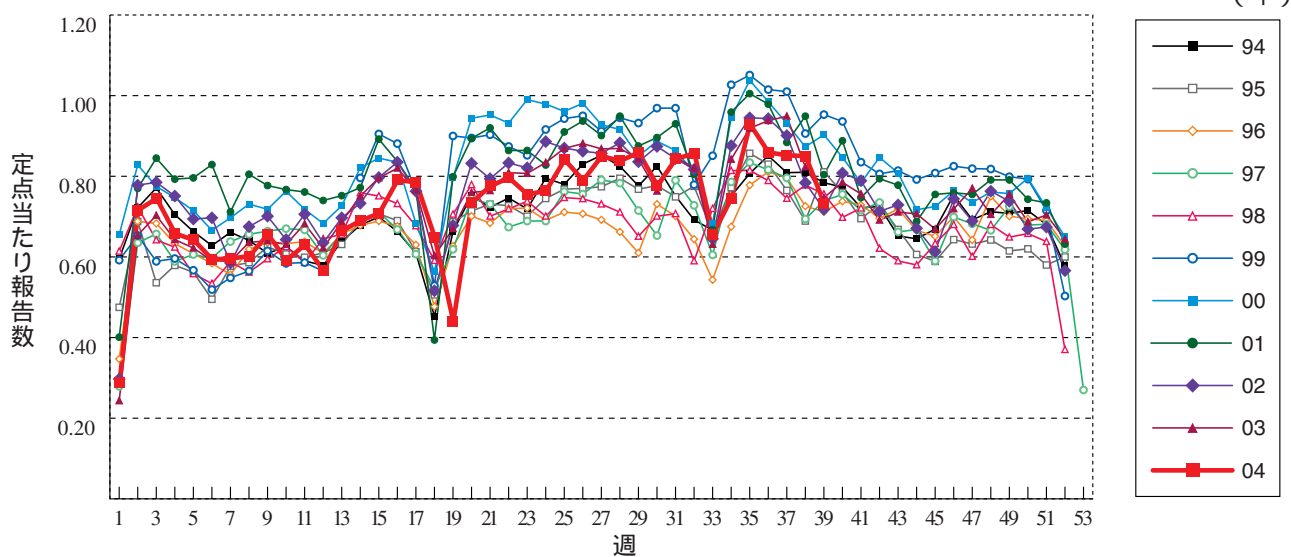
**手足口病**



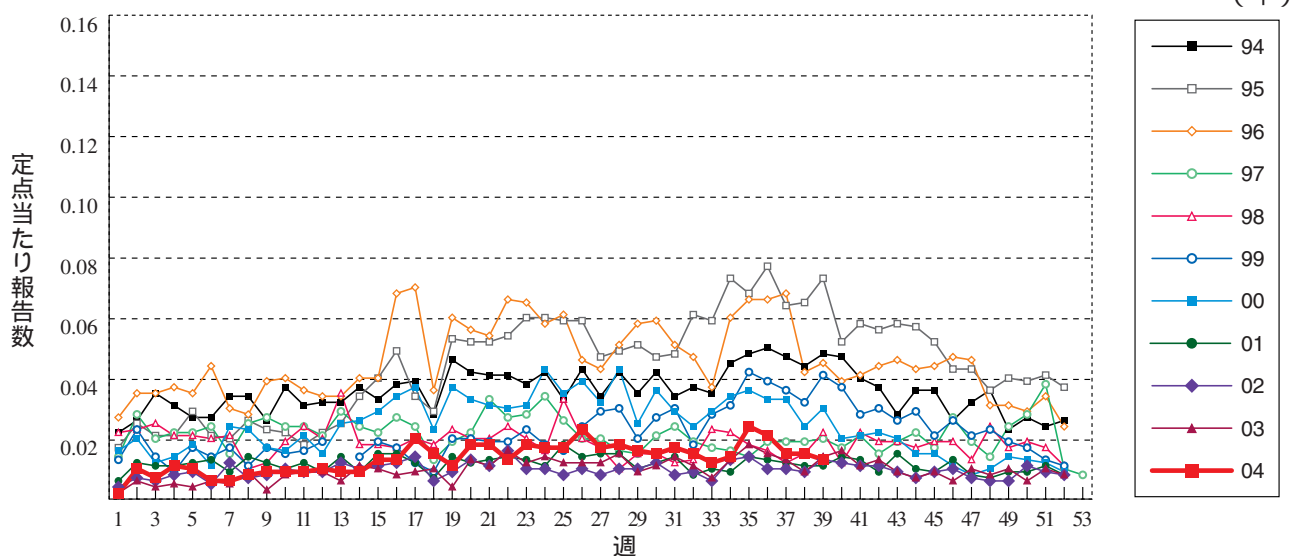
伝染性紅斑



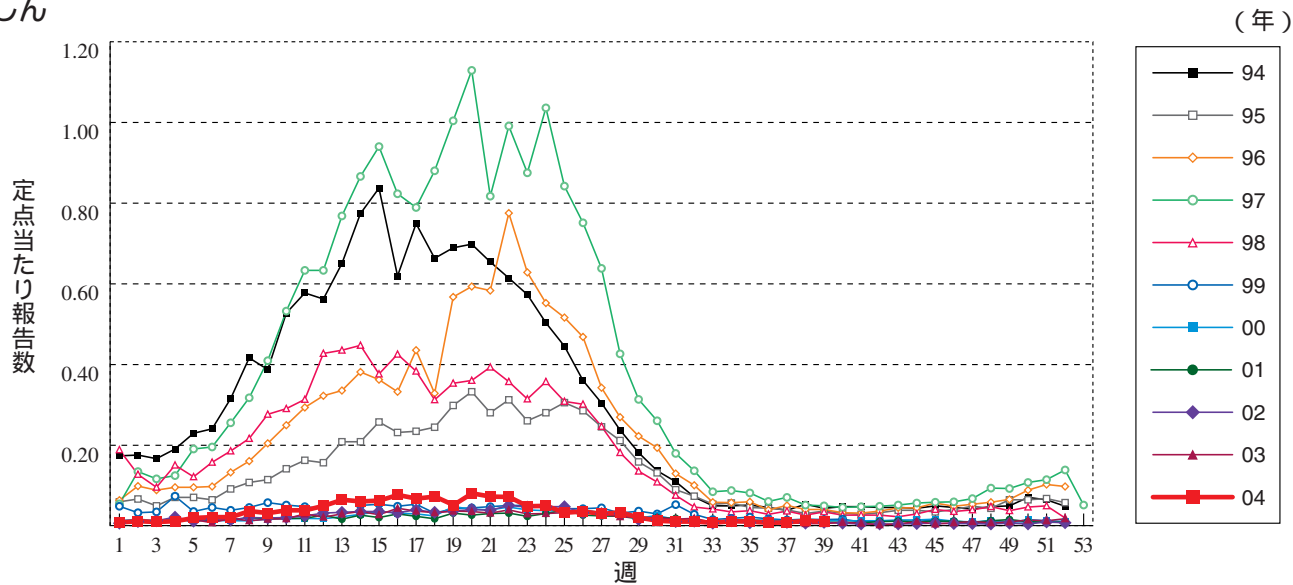
突発性発しん



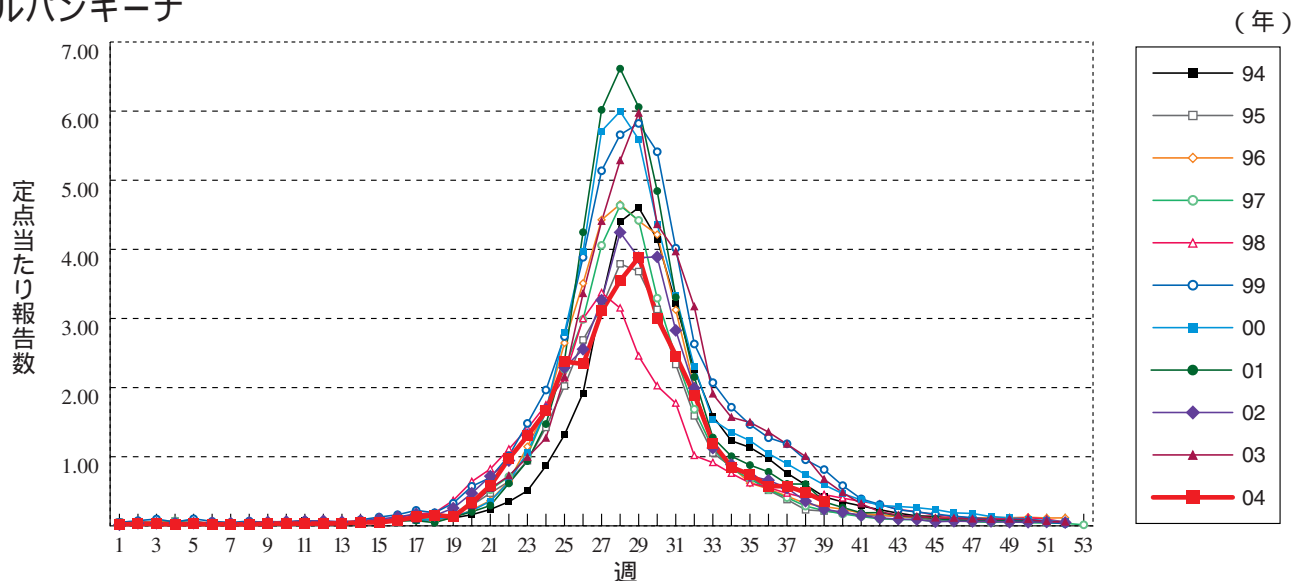
百日咳



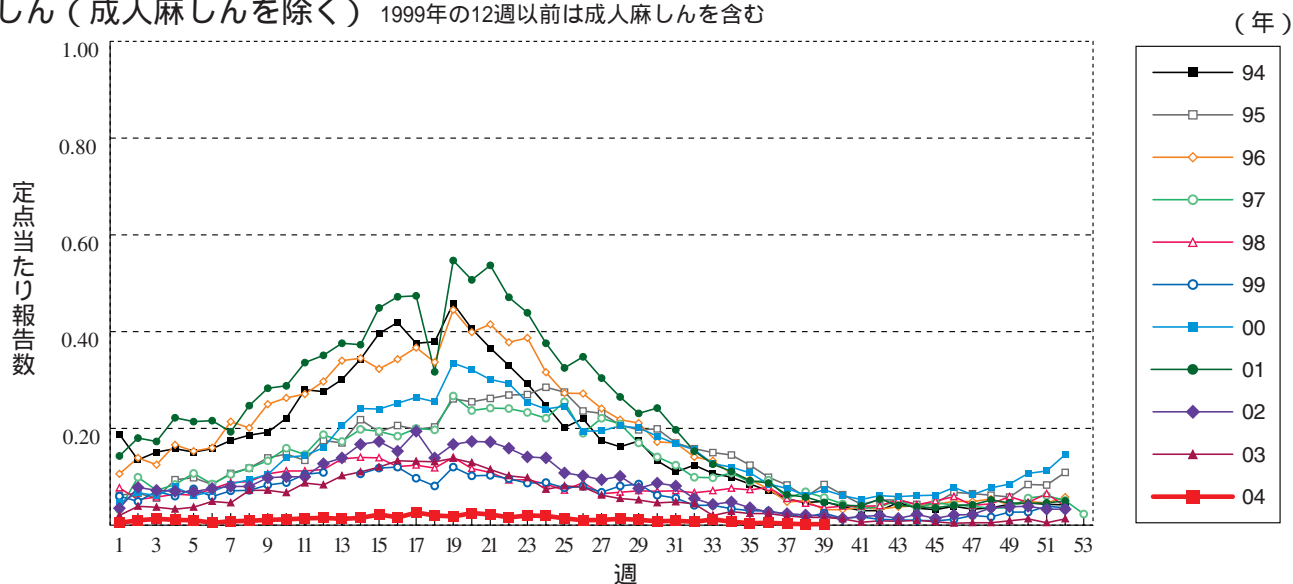
風しん



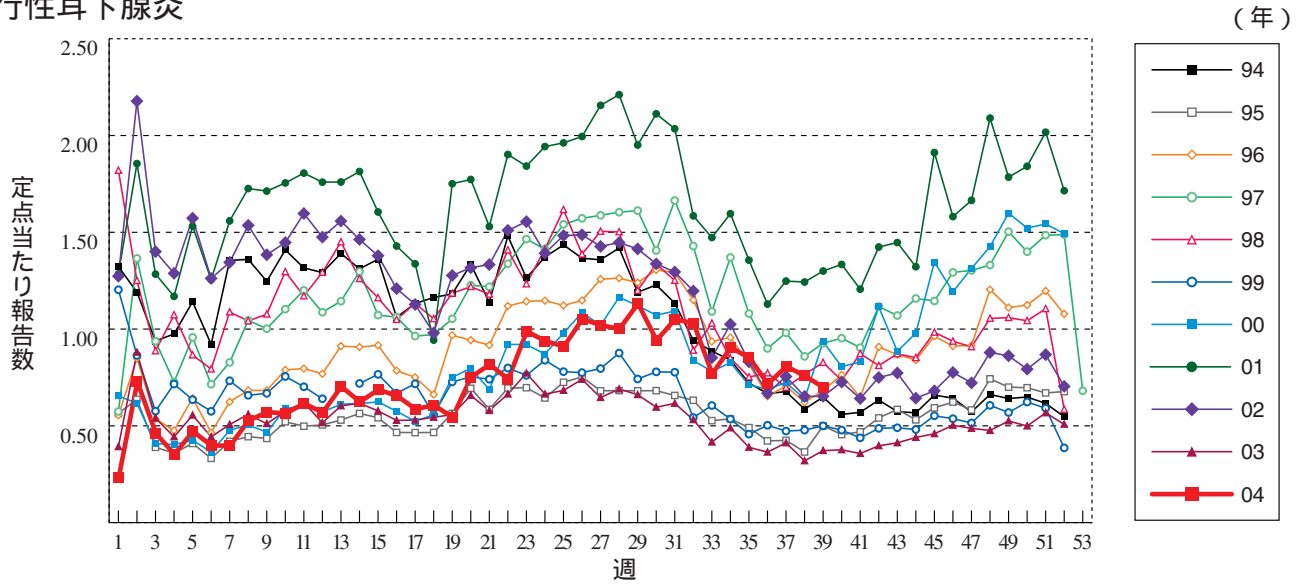
ヘルパンギーナ



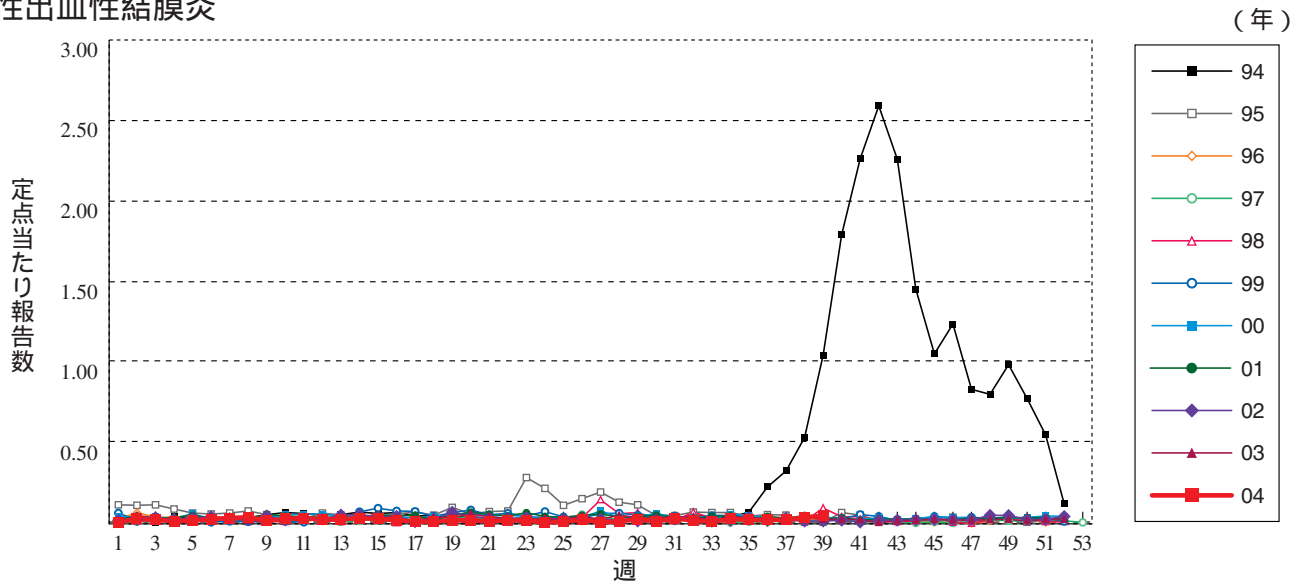
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



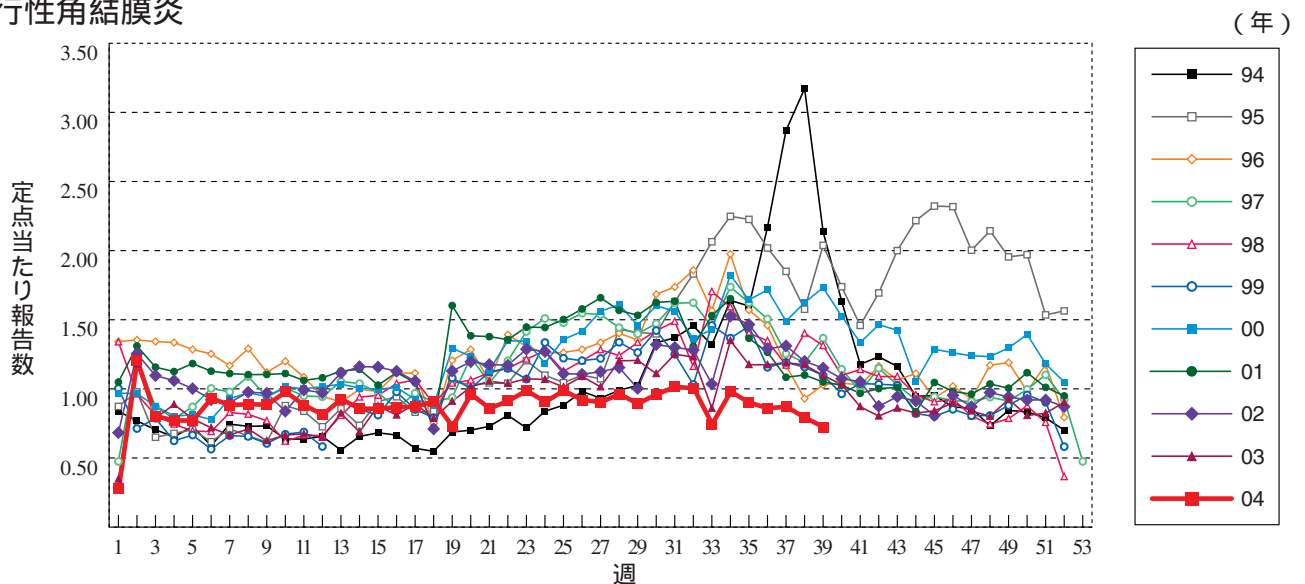
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎



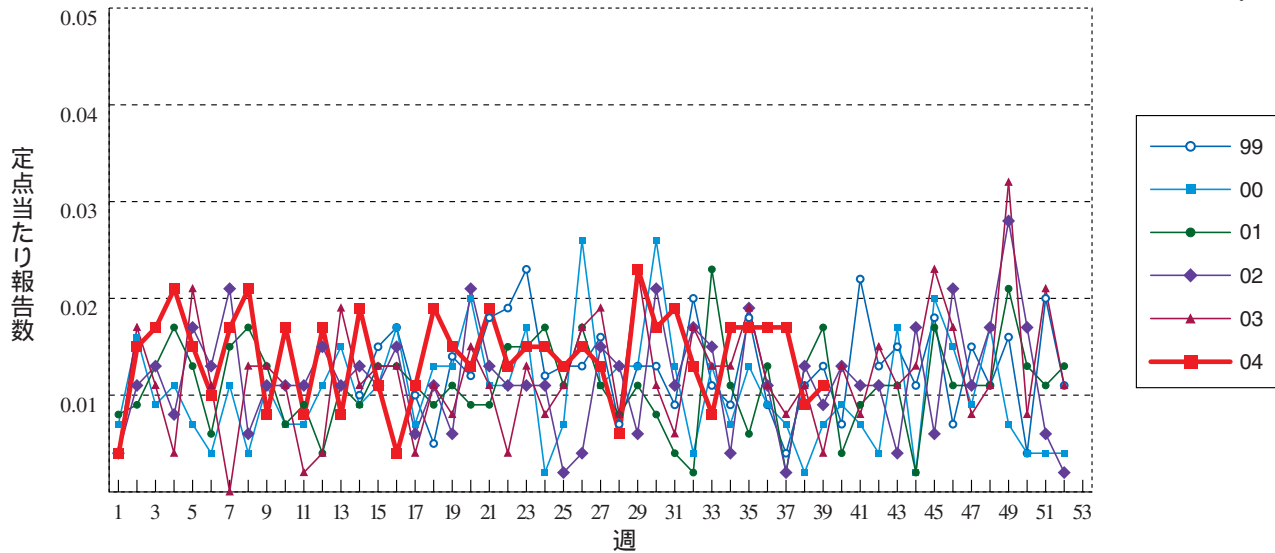
流行性角結膜炎





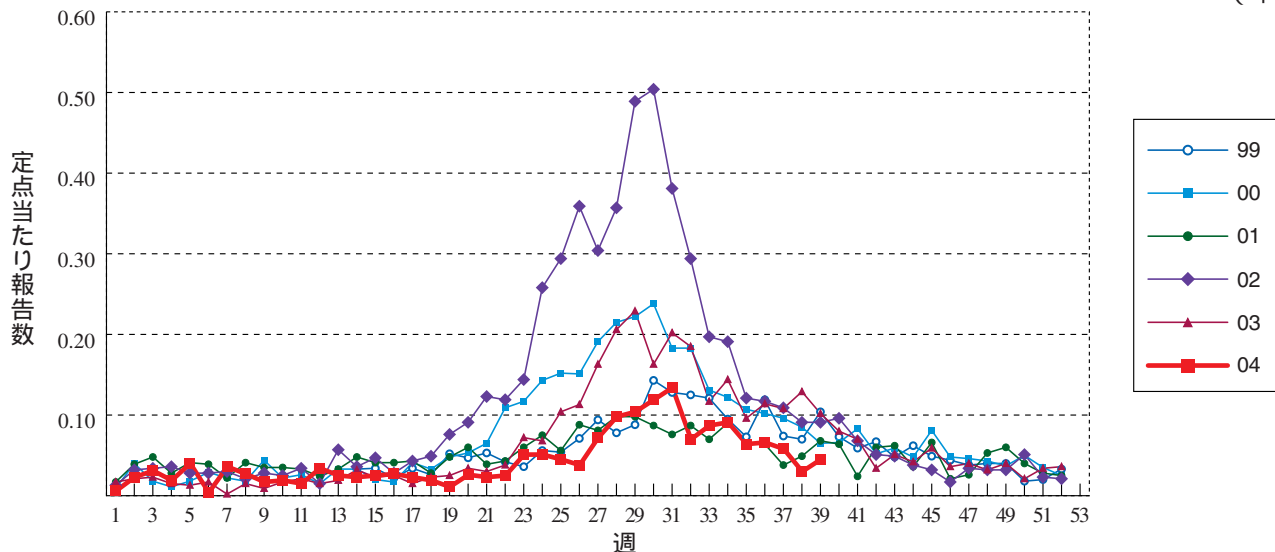
細菌性髄膜炎

(年)



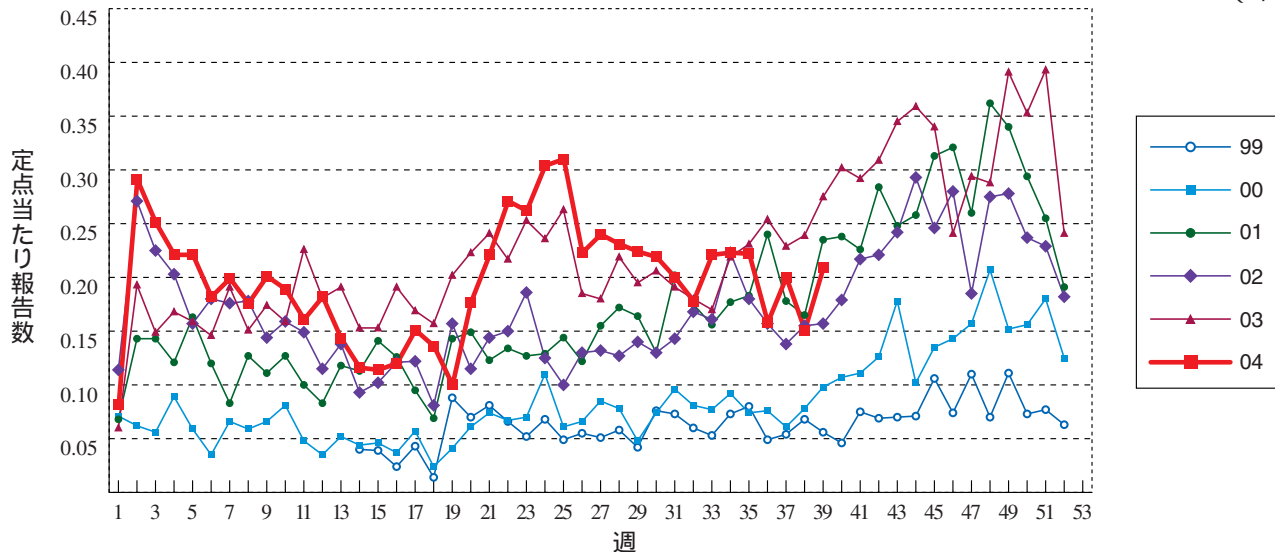
無菌性髄膜炎

(年)



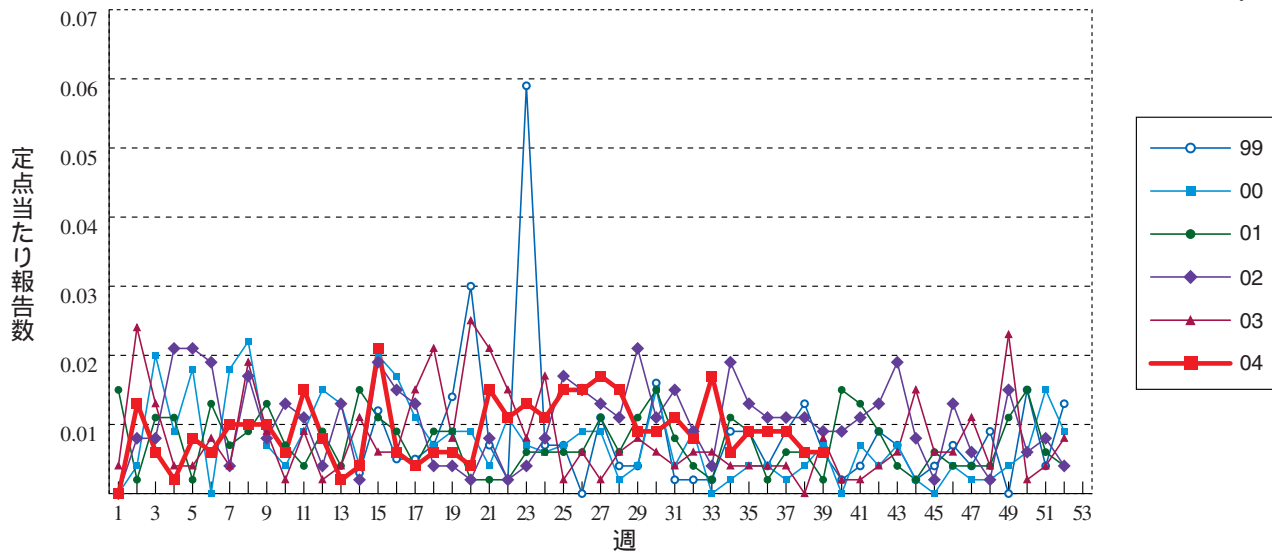
マイコプラズマ肺炎

(年)



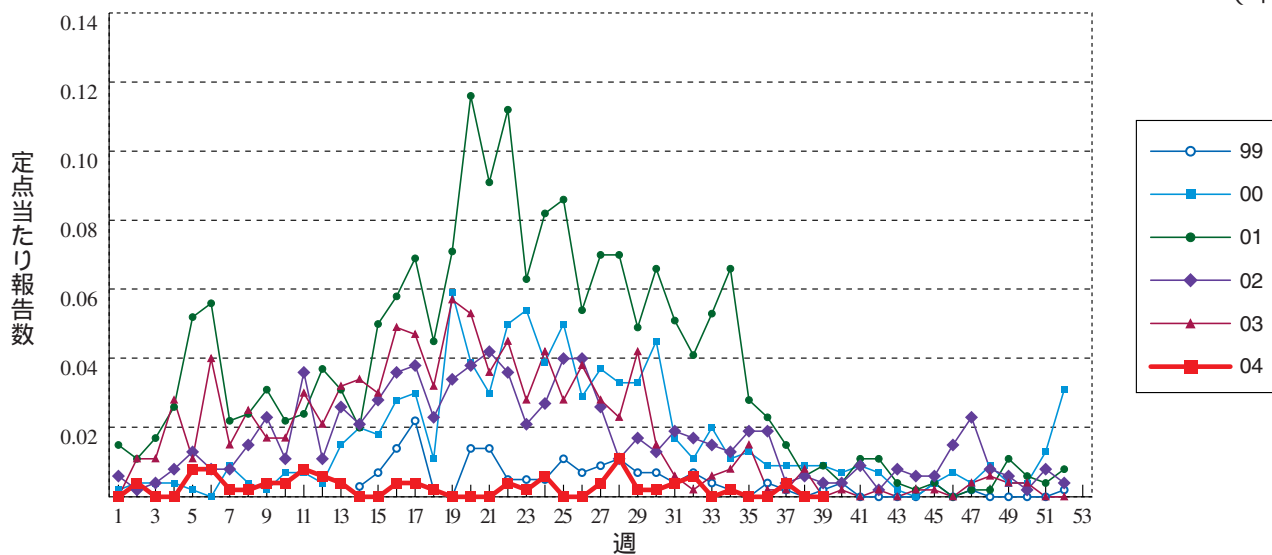
クラミジア肺炎 ( オウム病を除く )

( 年 )



成人麻疹

( 年 )





### 39週のデータ

注)表中の報告数は10月1日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年39週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	68	18	435	-	50	4	65
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	17	-	2	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	9	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	24	-	1	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	32	-	3	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	5	97	-	13	2	15
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	22	-	5	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	2	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	7	-	2	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	20	-	5	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	1	2
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	1	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	41	-	3	-	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	20	-	5	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	3	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	11	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	9	-	1	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年39週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	68	2987	3	431	-	22	-	-	-	33	-	-	1	211
北海道	-	-	-	-	1	53	-	11	-	22	-	-	-	1	-	-	-	9
青森県	-	-	-	-	-	23	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	3	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	8	124	-	11	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	-	42	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	16	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	7	50	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	18	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	32	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	3	79	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	72	-	17	-	-	-	-	-	1	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	-	2	108	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	6	228	-	99	-	-	-	-	-	3	-	-	-	43
神奈川県	-	-	-	-	-	80	-	23	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	-	21	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	-	-	-	2	169	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	-	-	35	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長野県	-	-	-	-	3	58	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	31	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
静岡県	-	-	-	-	1	57	1	16	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	4	146	-	36	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
三重県	-	-	-	-	-	73	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	18	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	-	59	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
大阪府	-	-	-	-	5	184	1	47	-	-	-	-	-	6	-	-	-	23
兵庫県	-	-	-	-	-	123	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
奈良県	-	-	-	-	4	46	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	-	14	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	8	49	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	13	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	5	168	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	1	76	-	10	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	-	42	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	55	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	74	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	1	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	1	136	-	16	-	-	-	-	-	3	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	1	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	1	65	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	78	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	-	34	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
鹿児島県	-	-	-	-	1	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	-	27	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年39週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	6	-	-	1	88	-	121	-	44	15	835	-	3	2	65	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	6	-	2	-	9	-	-	-	3	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	10	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	27	-	4	-	1	-	30	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	1	53	-	4	-	2	-	40	-	-	2	11	-	-
東京都	-	1	-	-	-	7	-	13	-	5	6	314	-	-	-	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	48	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	33	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	26	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	3	-	3	-	52	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	4	92	-	1	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3	1	18	-	-	-	5	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	4	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	13	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	13	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	11	-	-	-	2	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年39週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	19	-	5	-	-	-	99	-	34	2	44	-	3	1	365	3	71
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	4
青森県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	8	-	3
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	1	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	10	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	7	1	3
東京都	-	5	-	3	-	-	-	5	-	22	-	-	-	-	-	48	-	1
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	12	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	3
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	25	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	12	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	47	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	11	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	11	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	8	-	1
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	6	-	-	-	11	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	7	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	5	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	19	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	4	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	3	-	-	-	7	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年39週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50	-	3	2	103
北海道	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	5
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
東京都	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18	-	-	-	13
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	1	7
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年39週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	22	-	-	2	112	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-



報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年39週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	6	-	49	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-

**全数把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年39週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	7	0.00	470	0.15	1441	0.47	6814	2.24	1366	0.45	3159	1.04	301	0.10	2224	0.73	41	0.01
北海道	1	0.00	37	0.26	159	1.11	166	1.16	101	0.71	255	1.78	9	0.06	74	0.52	1	0.01
青森県	-	-	1	0.02	19	0.45	40	0.95	30	0.71	18	0.43	-	-	17	0.40	-	-
岩手県	-	-	2	0.06	8	0.22	25	0.69	23	0.64	29	0.81	8	0.22	27	0.75	-	-
宮城県	-	-	2	0.03	30	0.51	133	2.25	37	0.63	52	0.88	13	0.22	48	0.81	-	-
秋田県	-	-	2	0.06	24	0.69	59	1.69	6	0.17	16	0.46	1	0.03	10	0.29	-	-
山形県	-	-	6	0.20	23	0.77	43	1.43	10	0.33	2	0.07	8	0.27	22	0.73	1	0.03
福島県	-	-	7	0.15	38	0.79	158	3.29	33	0.69	60	1.25	8	0.17	35	0.73	1	0.02
茨城県	-	-	9	0.12	35	0.47	88	1.19	20	0.27	42	0.57	5	0.07	31	0.42	-	-
栃木県	-	-	-	-	19	0.41	64	1.39	26	0.57	18	0.39	7	0.15	32	0.70	6	0.13
群馬県	-	-	14	0.23	32	0.52	76	1.23	26	0.42	18	0.29	9	0.15	27	0.44	3	0.05
埼玉県	-	-	25	0.16	71	0.45	374	2.37	48	0.30	81	0.51	12	0.08	126	0.80	1	0.01
千葉県	-	-	8	0.06	61	0.46	234	1.75	56	0.42	108	0.81	22	0.16	84	0.63	2	0.01
東京都	-	-	19	0.13	25	0.18	272	1.92	42	0.30	88	0.62	18	0.13	114	0.80	1	0.01
神奈川県	-	-	20	0.10	74	0.36	405	1.97	66	0.32	118	0.57	18	0.09	177	0.86	1	0.00
新潟県	-	-	3	0.05	32	0.53	98	1.63	33	0.55	64	1.07	7	0.12	52	0.87	-	-
富山県	-	-	3	0.10	38	1.31	113	3.90	26	0.90	79	2.72	1	0.03	22	0.76	4	0.14
石川県	-	-	2	0.07	12	0.41	80	2.76	22	0.76	53	1.83	8	0.28	20	0.69	-	-
福井県	-	-	30	1.36	8	0.36	159	7.23	21	0.95	61	2.77	1	0.05	16	0.73	-	-
山梨県	-	-	-	-	5	0.20	44	1.76	2	0.08	15	0.60	2	0.08	5	0.20	-	-
長野県	-	-	9	0.16	27	0.49	113	2.05	18	0.33	55	1.00	5	0.09	35	0.64	2	0.04
岐阜県	-	-	20	0.38	8	0.15	66	1.25	20	0.38	14	0.26	1	0.02	46	0.87	3	0.06
静岡県	-	-	12	0.14	27	0.31	245	2.85	24	0.28	149	1.73	9	0.10	74	0.86	-	-
愛知県	-	-	10	0.05	57	0.31	354	1.95	61	0.34	55	0.30	18	0.10	139	0.76	3	0.02
三重県	-	-	8	0.18	28	0.62	167	3.71	43	0.96	38	0.84	3	0.07	27	0.60	-	-
滋賀県	-	-	12	0.36	5	0.15	42	1.27	14	0.42	19	0.58	-	-	24	0.73	-	-
京都府	-	-	5	0.07	23	0.31	207	2.80	22	0.30	54	0.73	2	0.03	40	0.54	-	-
大阪府	5	0.02	28	0.14	93	0.48	370	1.90	70	0.36	118	0.61	14	0.07	143	0.73	1	0.01
兵庫県	-	-	18	0.14	73	0.57	362	2.83	47	0.37	43	0.34	17	0.13	113	0.88	1	0.01
奈良県	-	-	2	0.06	15	0.43	60	1.71	11	0.31	21	0.60	2	0.06	20	0.57	-	-
和歌山県	-	-	3	0.10	10	0.32	66	2.13	30	0.97	34	1.10	4	0.13	15	0.48	-	-
鳥取県	1	0.03	-	-	25	1.32	107	5.63	12	0.63	9	0.47	1	0.05	22	1.16	-	-
島根県	-	-	2	0.09	6	0.26	81	3.52	13	0.57	11	0.48	-	-	26	1.13	-	-
岡山県	-	-	9	0.17	10	0.19	144	2.67	26	0.48	14	0.26	5	0.09	35	0.65	-	-
広島県	-	-	35	0.47	22	0.29	260	3.47	32	0.43	23	0.31	5	0.07	56	0.75	3	0.04
山口県	-	-	12	0.24	30	0.61	196	4.00	25	0.51	40	0.82	6	0.12	53	1.08	-	-
徳島県	-	-	1	0.04	7	0.30	44	1.91	9	0.39	5	0.22	3	0.13	21	0.91	-	-
香川県	-	-	2	0.06	5	0.16	43	1.34	18	0.56	11	0.34	6	0.19	17	0.53	-	-
愛媛県	-	-	-	-	28	0.72	150	3.85	28	0.72	29	0.74	7	0.18	45	1.15	-	-
高知県	-	-	13	0.42	15	0.48	47	1.52	15	0.48	106	3.42	1	0.03	23	0.74	-	-
福岡県	-	-	14	0.12	70	0.58	347	2.89	68	0.57	267	2.23	14	0.12	105	0.88	3	0.03
佐賀県	-	-	1	0.04	10	0.43	21	0.91	10	0.43	15	0.65	6	0.26	21	0.91	-	-
長崎県	-	-	10	0.23	16	0.36	96	2.18	14	0.32	52	1.18	-	-	33	0.75	-	-
熊本県	-	-	19	0.39	30	0.61	114	2.33	18	0.37	150	3.06	9	0.18	33	0.67	1	0.02
大分県	-	-	4	0.11	50	1.39	174	4.83	18	0.50	108	3.00	3	0.08	36	1.00	-	-
宮崎県	-	-	26	0.70	17	0.46	153	4.14	27	0.73	341	9.22	2	0.05	34	0.92	-	-
鹿児島県	-	-	2	0.04	13	0.24	137	2.49	26	0.47	185	3.36	1	0.02	29	0.53	1	0.02
沖縄県	-	-	3	0.09	8	0.24	17	0.50	19	0.56	16	0.47	-	-	20	0.59	2	0.06

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年39週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	26	0.01	1063	0.35	5	0.00	2121	0.70	31	0.05	460	0.72	5	0.01	21	0.04	98	0.21
北海道	-	-	92	0.64	-	-	43	0.30	-	-	9	0.31	-	-	-	-	10	0.43
青森県	2	0.05	43	1.02	-	-	12	0.29	-	-	2	0.18	-	-	1	0.17	-	-
岩手県	1	0.03	54	1.50	-	-	17	0.47	-	-	9	0.75	-	-	-	-	2	0.10
宮城県	-	-	99	1.68	-	-	24	0.41	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.25
秋田県	1	0.03	40	1.14	-	-	7	0.20	1	0.14	3	0.43	-	-	-	-	6	0.86
山形県	-	-	25	0.83	-	-	22	0.73	-	-	2	0.25	-	-	1	0.10	5	0.50
福島県	-	-	69	1.44	-	-	25	0.52	-	-	12	1.00	-	-	1	0.14	4	0.57
茨城県	-	-	4	0.05	-	-	21	0.28	-	-	29	1.81	-	-	-	-	-	-
栃木県	3	0.07	5	0.11	-	-	23	0.50	-	-	4	0.33	-	-	3	0.43	3	0.43
群馬県	-	-	33	0.53	-	-	35	0.56	-	-	34	2.43	-	-	-	-	9	0.90
埼玉県	1	0.01	24	0.15	2	0.01	162	1.03	-	-	20	0.54	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	20	0.15	-	-	138	1.03	1	0.03	15	0.45	1	0.11	-	-	-	-
東京都	2	0.01	30	0.21	-	-	59	0.42	-	-	13	0.93	-	-	1	0.04	2	0.08
神奈川県	2	0.01	51	0.25	-	-	106	0.51	-	-	15	0.36	-	-	-	-	-	-
新潟県	1	0.02	27	0.45	-	-	35	0.58	-	-	7	0.78	-	-	-	-	2	0.15
富山県	-	-	7	0.24	-	-	7	0.24	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20
石川県	1	0.03	4	0.14	-	-	4	0.14	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	55	2.50	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17	1	0.17
山梨県	1	0.04	9	0.36	-	-	2	0.08	-	-	-	-	-	-	1	0.10	2	0.20
長野県	-	-	40	0.73	-	-	28	0.51	-	-	6	0.55	-	-	-	-	9	0.82
岐阜県	-	-	22	0.42	-	-	87	1.64	-	-	13	1.08	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	62	0.72	-	-	44	0.51	-	-	12	0.60	-	-	1	0.10	-	-
愛知県	1	0.01	29	0.16	-	-	178	0.98	2	0.06	28	0.80	-	-	1	0.08	8	0.62
三重県	-	-	15	0.33	-	-	24	0.53	-	-	2	0.17	-	-	1	0.11	2	0.22
滋賀県	1	0.03	6	0.18	1	0.03	29	0.88	-	-	1	0.14	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	11	0.15	-	-	25	0.34	-	-	18	1.06	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	31	0.16	-	-	153	0.78	2	0.04	26	0.53	1	0.07	-	-	3	0.20
兵庫県	2	0.02	24	0.19	-	-	75	0.59	-	-	23	0.66	-	-	1	0.08	-	-
奈良県	-	-	1	0.03	-	-	15	0.43	-	-	2	0.22	-	-	1	0.17	2	0.33
和歌山県	-	-	6	0.19	-	-	21	0.68	-	-	1	0.25	1	0.09	-	-	1	0.09
鳥取県	-	-	2	0.11	-	-	4	0.21	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.20
島根県	-	-	9	0.39	-	-	6	0.26	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-
岡山県	-	-	3	0.06	-	-	31	0.57	-	-	5	0.42	-	-	-	-	3	0.60
広島県	-	-	17	0.23	-	-	74	0.99	-	-	47	2.35	-	-	3	0.16	4	0.21
山口県	-	-	15	0.31	-	-	60	1.22	-	-	2	0.22	-	-	-	-	9	1.00
徳島県	-	-	4	0.17	-	-	6	0.26	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.09	-	-	26	0.81	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	16	0.41	-	-	47	1.21	25	3.57	14	2.00	-	-	-	-	1	0.17
高知県	-	-	21	0.68	-	-	12	0.39	-	-	1	0.33	-	-	-	-	3	0.33
福岡県	1	0.01	22	0.18	1	0.01	171	1.43	-	-	17	0.65	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	-	-	7	0.30	-	-	70	3.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	9	0.20	-	-	15	0.34	-	-	3	0.38	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	21	0.43	-	-	44	0.90	-	-	10	1.11	-	-	3	0.20	-	-
大分県	-	-	8	0.22	-	-	12	0.33	-	-	1	0.20	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.05	15	0.41	-	-	38	1.03	-	-	5	1.25	-	-	-	-	1	0.14
鹿児島県	1	0.02	3	0.05	-	-	18	0.33	-	-	10	1.43	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	4	0.12	1	0.03	11	0.32	-	-	34	3.40	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年39週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	3	0.01	-	-	46
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	2
宮城県	-	-	-	-	4
秋田県	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	1	0.14	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	5
神奈川県	-	-	-	-	2
新潟県	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	3
静岡県	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	...
滋賀県	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	-	-	-	-	3
兵庫県	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	5
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	3

**定点把握疾患表注釈**

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正( 施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照 )により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県( ... )が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第39号 平成16年10月8日発行  
発 行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課  
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報( 厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。